

線形代数学第一 (LAS.M102-10)

同次連立一次方程式・一次独立性

山田光太郎

kotaro@math.titech.ac.jp

[http:](http://www.math.titech.ac.jp/~kotaro/class/2022/linear-1/)

[//www.math.titech.ac.jp/~kotaro/class/2022/linear-1/](http://www.math.titech.ac.jp/~kotaro/class/2022/linear-1/)

東京工業大学

2022/05/06

$$P_i^{(n)}(s) \quad P_{ij} \quad P_{ij}(s)$$

Q: 基本行列 2/3 の黒板での $P_{ij}(s)B$ の説明が黒板を見てもよくわかりませんでした. 説明が間違っているような気がします.

A: $P_{ij}(s)$ は, 対角成分が 1, (i, j) -成分 ($i \neq j$) が s , それ以外の成分が 0 の n 次正方行列.

$n \times m$ -型行列 B に対して, 積 $P_{ij}(s)B$ は B の第 i 行に第 j 行の s 倍を加えてできる行列.

$$P_{ij}(s) = \begin{bmatrix} 1 & & & & \\ & \ddots & & & \\ & & 1 & & \\ & & & s & \\ & & & & \ddots \\ & & & & & 1 \end{bmatrix} \leftarrow i \quad P_{ij}(s) = [p_{\alpha\beta}]$$

$$p_{\alpha\beta} = \delta_{\alpha\beta} + s\delta_{\alpha i}\delta_{\beta j}$$

質問から



Q: 授業中に行基本変形は同値変形だとおっしゃっていましたが、それは同値記号でつなげていいということですか？

A: 正確には「対応する連立一次方程式の同値変形」ですね。

連立一次方程式としては同値なので、連立一次方程式の形では同値記号でつなげていけますが、ここでは「行列の同値性」を定義してませんので、行列同士を同値記号でつなぐのはおかしいと思います。

質問から

Q: 黒板Bスライド5枚目で、変数の置き方は無限にあるとおっしゃいましたが x が 1 から 5, 階数 2 のときは多くても ${}_5C_3 = 10$ 通りではないかと考えました. 他に何かあるのでしょうか.

A: たとえばその例であれば

$$x_1 = t_1, \quad x_2 = -2t_3 + t_5 + b_1, \quad x_3 = t_3, \quad x_4 = 2t_5 + b_2,$$

と3つのパラメータ (t_1, t_3, t_5) ですべての解を表すことができます. このようなすべての解を表すパラメータのとり方は無限通り, というのがここで述べ

$$\begin{aligned} t_1 &= s_1 + t_5 \\ t_3 &= s_2 \\ t_5 &= s_3 \end{aligned}$$

一次独立 (線形独立) · 一次従属

テキスト 53 ページ.

線形 線型 一次

linear の訳語

線形性 (字義)

$$f(x+y) = f(x) + f(y)$$

(和)

$$f(kx) = kf(x)$$

(比例)

$$\begin{pmatrix} x, y \in \mathbb{R} \\ f(x), f(y) \in \mathbb{R} \end{pmatrix}$$

一次式

2次式以下を意味

線形関係

1次元空間

$$f(x) = mx$$

$a_1 \dots a_r$: n 次元列ベクトル (行ベクトル)

$t_1 \dots t_r$: スカラー (数)

$$t_1 a_1 + \dots + t_r a_r : a_1 \dots a_r \text{ の線形結合}$$

結合

$$= [a_1 \dots a_r] \begin{bmatrix} t_1 \\ \vdots \\ t_r \end{bmatrix}$$

$[a_1 \dots a_r]$: 一次独立 linearly independent

$$\Leftrightarrow \left(\begin{array}{l} t_1 a_1 + \dots + t_r a_r = 0 \\ \text{と等しいのは } t_1 = \dots = t_r = 0 \text{ のときのみ} \end{array} \right)$$

$$a_1 = \begin{bmatrix} 1 \\ 2 \\ 1 \end{bmatrix} \quad a_2 = \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \\ -1 \end{bmatrix} \quad a_3 = \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \end{bmatrix} \quad A = [a_1 \ a_2 \ a_3]$$

rank

$$[a_1 \ a_2 \ a_3] \begin{bmatrix} t_1 \\ t_2 \\ t_3 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \\ 0 \end{bmatrix}$$

$a_1 \ a_2 \ a_3$ 一次独立

$$\Rightarrow t_1 = t_2 = t_3 = 0$$

$$b_1 = \begin{bmatrix} 1 \\ 2 \\ 1 \end{bmatrix} \quad b_2 = \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \\ -1 \end{bmatrix} \quad b_3 = \begin{bmatrix} 1 \\ 1 \\ 0 \end{bmatrix}$$

$$b_1 + b_2 - 2b_3 = 0 \quad \text{一次线性}$$

b_1, b_2, b_3 一次独立 2.7 例 linearly dependent

$$x = t_2$$

基本解の一次結合

$$\begin{bmatrix} 1 \\ 1 \\ 0 \\ 0 \end{bmatrix} \xrightarrow{+t_4} \begin{bmatrix} 3 \\ 0 \\ -2 \\ -1 \end{bmatrix}$$

a_2

一次結合

$$a_1 + a_2 =$$

$$t_2 \begin{bmatrix} 1 \\ 1 \\ 0 \\ 0 \end{bmatrix}$$

$$+ t_4 \begin{bmatrix} 3 \\ 0 \\ -2 \\ -1 \end{bmatrix}$$

$$+ t_5 \begin{bmatrix} 4 \\ 1 \\ -2 \\ 1 \end{bmatrix}$$